



町制施行100周年企画特集

第2号

大淀町100年の軌跡

大淀町は2月11日、町制施行100周年を迎えます。

この100年の間に、交通機関の発達や河川の水運を受けてまちは繁栄し、大芸術の振興により、豊かな自然が生み出す産物や文化芸術の振興により、豊かなまちへと発展してきました。このことは、町民のみなさんを始め、関係団体のみなさんから支えられ実現し得たものです。

町では2年前から、町制施行100周年記念事業を展開しています。町制施行100周年記念事業実行委員会では、「歴史と伝統を重んじ、これからも人が集うまちをめざして」をスローガン

ンに、さまざまな事業を進めてきました。しかし、当初本年2月に開催を予定していた記念式典は、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により延期を決定しました。今後、社会情勢を踏まえながら、100周年記念事業を進めていく予定をしていますので、住民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

さて、大淀町の歴史的出来事をみなさんはどれほどご存じでしょうか。100周年企画特集第2号では、この100年間の町の変遷を紹介します。みんなの知らないかった時代、懐かしい時代をこの機に再発見してください。変わりゆく時代情勢の中であっても、いつまでも人が行き交うまちづくりをめざして、希望ある時代にしましょう。



す。そのためにも、引き続き大淀町の100年の歴史をみんなに知つていただき、町の新たな魅力をお伝えしていきます。



時代で見る大淀町

昭和



昭和40年代の近鉄下市口駅周辺風景

戦争や高度経済成長など激動の時代を経て、公共施設や道路、下水道が整えられました。商店街が繁栄するなど、賑やかな町並みが形成されていきます。

令和



未来を考える100周年記念事業シンポジウム

町制施行100周年を迎える大淀町は未来に向けて新たな一歩を踏み出します。

大淀あらかしテレビでは、この特集記事の内容を反映した番組を放送予定しています。ぜひご覧ください。
あらかしテレビの視聴には、こまどりケーブルへの加入が必要です。

問・町役場 企画政策課 ☎0747-52-5517 • こまどりケーブル ☎0120-667-740

大正



吉野鉄道 吉野駅(現在の六田駅)

交通機関の発達により、この地域は吉野郡第一の工業地となり、人口の流入も著しい時代でした。そして大正10(1921)年、大淀町が誕生しました。

平成



大勢の人出で賑わうまちのイベントの様子

地域の伝統文化を次世代に継承する文化芸術の振興に向けて、さまざまな文化活動が行われました。時代はデジタル化へ、あらゆる生活様式の多様化が進展しました。

大淀町100年の歴史と歩み

| 令和3年 | 平成28年 | 平成23年 | 平成16年 | 平成13年 | 平成12年 | 平成9年 | 平成5年 | 平成元年 | 昭和63年 | 昭和57年 | 昭和45年 | 昭和40年 | 昭和34年 | 昭和27年 | 昭和22年 | 昭和3年 | 大正10年 | 大正12年 | 大淀町の誕生 |
|-----------|--------|-----------|------------|-------------|-------|------|------------|------------|----------|----------|------------|------------|------------|-----------|-------|-----------|----------|-------|--------|
| 町制施行100周年 | ターメリ開院 | 南奈良総合医療セン | ターよどりちゃん誕生 | 大淀あらかしテレビ開始 | ンター完成 | 道の駅 | 町マスコットキャラク | 大淀病院に新館、町保 | 中吉野警察署完成 | 町役場新庁舎完成 | 芦原トンネル開通 | 伊勢湾台風襲来 | 佐名伝が大淀町に編入 | 六田～吉野間の開通 | 吉野鉄道 | 吉野鐵道 吉野口～ | 櫛原神宮間の開通 | 吉野鉄道 | 吉野口～ |
| | | | | | | | | 健センター完成 | 人口2万人突破 | 町文化会館完成 | 町制施行50周年式典 | 大淀病院に新館、町保 | 佐名伝が大淀町に編入 | 六田～吉野間の開通 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |